

いちょう団地地区

基本理念

こんにちは 你好 xīn chāo みんな笑顔で支え合うまち

目指すまちの姿

- みんなが地域を知り、みんなで支え合うまち
- みんなが活動の場に参加できるまち
- 多文化共生ができるまち



第4期計画の取組と成果

【買い物支援】

地域住民の要望から、買い物支援として移動販売を開始し、定着してきている。多くの方が利用し、地域の中で交流する場となり、見守りとしての役割も担っている。移動販売を通して、みんなで声をかけあい、支え合う活動の輪が広がっている。

【サロン活動】

- ・20年近く継続しているサロンもあり、コロナ禍でも工夫しながら活動している。また、休止していたサロンも再開しつつあり、参加者も増え、健康の保持・増進につながっている。
- ・「町ぐるみ健康教室」「転倒骨折予防教室」「いちょうサロン」では令和4年度延べ1,149名が参加し、近隣エリアからの参加もあり、スタッフも楽しみながら実施している。
- ・「いちょうの会」では70歳以上の一人暮らし高齢者の食事会を開催していたが、コロナ禍で会食ができず、令和3年度よりお弁当の受け渡しへ変更した。利用者も多く、地域で必要とされている活動となっている。

【多文化交流・外国につながる方への支援】

- ・いちょう団地祭りなどのイベントをはじめ、日常的な関わりの中で交流の場が増えつつある。

【子育て支援】

- ・コロナ禍でも学援隊による登下校の見守りを行うなど様々なことに取り組んだ。

今後取り組む内容・課題

- ・地域防災拠点（旧いちょう小）での防災訓練の参加人数が減少しているため、災害に備え、互いに助け合えるまちを目指し、幅広い世代が防災訓練に参加できるよう工夫していきたい。
- ・地域で行われているサロンに、今後も誰でも気軽に参加できるようにしていきたい。
- ・「いちょう団地祭り」「いちょう団地福祉祭り」など、コロナ禍で休止していたイベントを令和5年度より再開することができたため、今後も継続できるように前向きに取り組んでいきたい。また、イベントを通して、多文化共生・多世代交流の場になると良い。
- ・外国につながる方と円滑にコミュニケーションが図れるように、コミュニティづくりに力をいれたい。
 - ・地域での支え合いについて学ぶ機会として、小学校での高齢者・障害者疑似体験を実施できるように、学校と連携して対応していく。
 - ・「いちょうの会」について、今後の実施方法等について検討していきたい。
 - ・移動販売が継続できるよう、地域や事業者、関係機関による、いちょう団地買い物協議体で意見交換を行いながら、工夫して取り組んでいく。